

2017年3月期 第2四半期 決算補足説明資料

注) IR説明会は12月5日(月)に開催予定です。
この資料は、第2四半期決算をよりご理解いただくために、
参考までに作成している資料です。

Best Communication
NAC



2016年11月8日

株式会社ナック

東証一部 9788

本資料の記載内容

1. 第2四半期の実績	…	P. 2
2. セグメント別業績	…	P.11
3. 通期業績	…	P.24
4. 配当計画	…	P.28
5. 補足資料	…	P.30

この配付資料に記載されている業績目標及び契約数目標等はいずれも、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、また新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績はこの配付資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。

1. 第2四半期の実績

1 2017年3月期 上期：連結損益計算書

(単位：百万円)

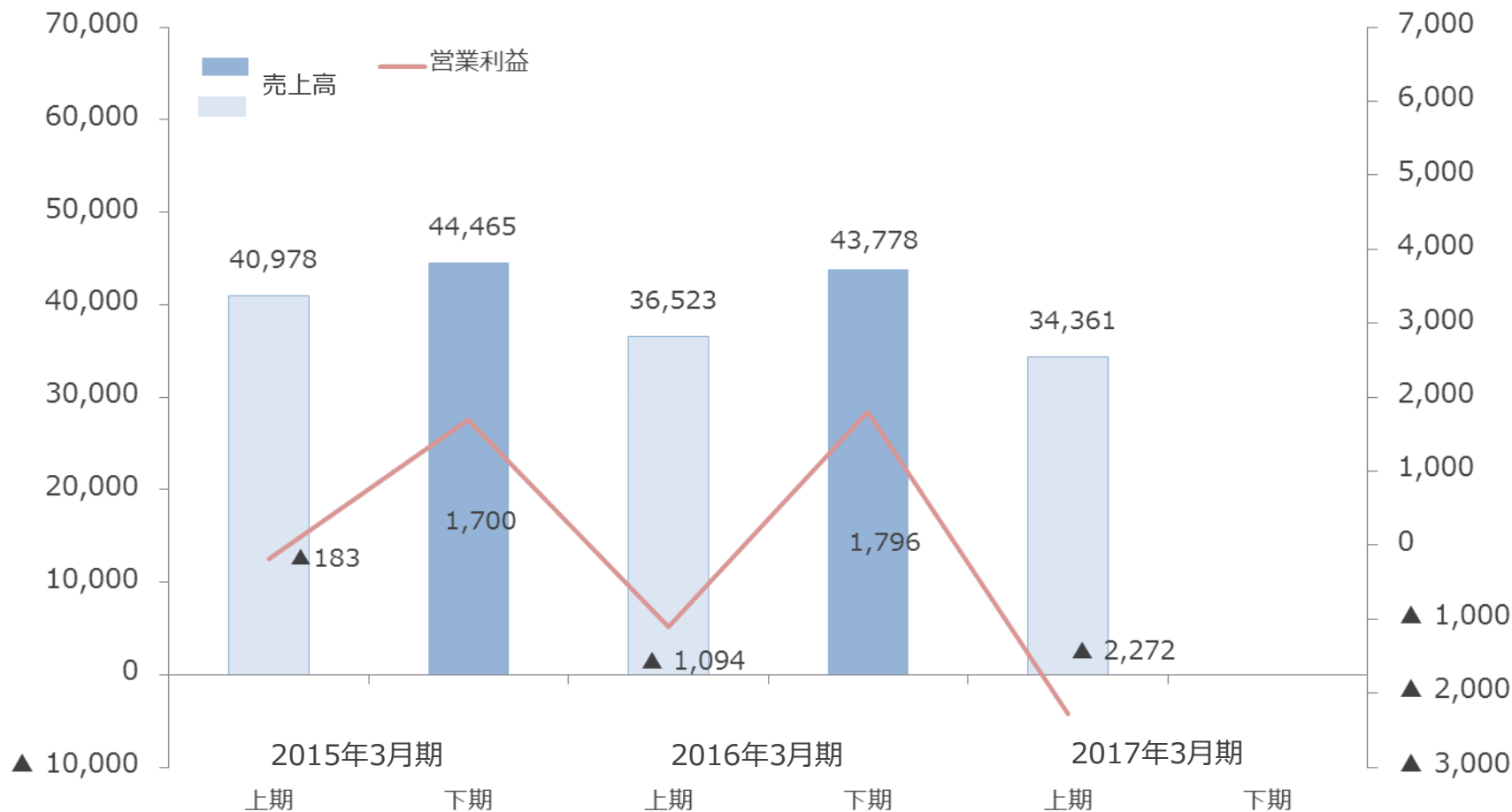
	'17.3月期 上期実績	上期計画比		前年同期比	
		'17.3月期 上期計画	達成率	'16.3月期 上期実績	増減率
売上高	34,361	35,700	▲ 3.8 %	36,523	▲ 5.9 %
売上総利益	15,390	—	—	15,866	▲ 3.0 %
(売上総利益率)	44.8%	—	—	43.4%	+ 1.4 pt
販管費	17,662	—	—	16,961	+ 4.1 %
営業利益	▲ 2,272	▲ 2,500	—	▲ 1,094	—
(営業利益率)	▲ 6.6 %	▲ 7.0 %	+ 0.4 pt	▲ 3.0 %	▲ 3.6 pt
営業外損益	6	—	—	5	+ 22.6 %
経常利益	▲ 2,266	▲ 2,500	—	▲ 1,089	—
特別損益	▲ 58	—	—	+ 31	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲ 1,810	▲ 1,800	—	▲ 912	—

» 住宅事業において、2016年3月末時点での受注残が減少し、売上高・営業利益において前期を下回った。

1 上半期／下半期の利益トレンド

(単位：百万円)

(単位：百万円)



» 住宅事業の引渡が期末に集中するため、営業利益は下半期に偏る傾向

1 セグメント別：売上高

(単位：百万円)

売 上 高	'17.3月期 上期実績	上期計画比		前年同期比	
		'17.3月期 上期計画	計画比	'16.3月期 上期実績	前年同期比
ク リ ク ラ	6,858	7,040	▲ 181	6,660	+ 198
レ ン タ ル	6,455	6,430	+ 25	6,296	+ 158
建 築 コ ン サ ル	2,640	3,400	▲ 759	2,747	▲ 107
住 宅 事 業	13,388	13,700	▲ 311	15,874	▲ 2,485
通 販 事 業	5,022	5,130	▲ 107	4,959	+ 62
消 去 調 整 他	▲ 3	-	-	▲ 15	+ 11
合 計	34,361	35,700	▲ 1,338	36,523	▲ 2,162

- ※ クリクラ事業は、直営部門・加盟店部門ともに売上が増加し、前年同期を上回ったが、計画には届かなかった。
- ※ レンタル事業は、全ての部門で売上高が増加し、計画・前年同期を上回った。
- ※ 建築コンサルティング事業は、ノウハウ販売・建築部材販売ともに市場悪化の影響が大きく、計画・前年同期を下回った。
- ※ 住宅事業は、2016年3月末時点における受注残高の減少と工事の完工・引渡しが遅れたことが影響し、計画・前年同期を下回った。
- ※ 通販事業はマキアレイベルが堅調に推移し、またCoyoriも順調に新規顧客数を伸ばしたことで前年同期を上回ったが、計画には届かなかった。

1 セグメント別：営業利益

(単位：百万円)

営業利益	'17.3月期 上期実績	上期計画比		前年同期比	
		'17.3月期 上期計画	計画比	'16.3月期 上期実績	前年同期比
ク リ ク ラ	14 (0.2%)	▲ 10 (▲ 0.1%)	+ 24 (+ 0.3 pt)	▲ 219 (▲ 3.3%)	+ 234 (+ 3.5 pt)
レ ン タ ル	824 (12.8%)	830 (12.9%)	▲ 5 (▲ 0.1 pt)	912 (14.5%)	▲ 87 (▲ 1.7 pt)
建 築 コ ン サ ル	234 (8.9%)	520 (15.3%)	▲ 285 (▲ 6.4 pt)	523 (19.1%)	▲ 289 (▲ 10.2 pt)
住 宅 事 業	▲ 2,214 (▲ 16.5%)	▲ 2,340 (▲ 17.1%)	+ 125 (+ 0.6 pt)	▲ 1,297 (▲ 8.2%)	▲ 917 (▲ 8.3 pt)
通 販 事 業	▲ 481 (▲ 9.6%)	▲ 670 (▲ 13.1%)	+ 188 (+ 3.5 pt)	▲ 451 (▲ 9.1%)	▲ 30 (▲ 0.5 pt)
全 社 費 用 等	▲ 650	▲ 830	+ 179	▲ 562	▲ 87
合 計	▲ 2,272 (▲ 6.6%)	▲ 2,500 (▲ 7.0%)	+ 227 (+ 0.4 pt)	▲ 1,094 (▲ 3.0%)	▲ 1,177 (▲ 3.6 pt)

※ カッコ内の数字は売上高に対する営業利益率です。

- ▶ クリクラは、売上高が増加したことで販売管理費を見直したことにより、計画・前年同期ともに上回った。
- ▶ レンタルは、人件費とその他の販売管理費が増加したことが要因となり計画・前年同期ともに下回った。
- ▶ 建築コンサルは、ノウハウ販売と建築部材販売の売上減少に伴い、計画・前年同期ともに下回った。
- ▶ 住宅事業は、売上高減少により営業利益が前年同期は下回ったが、管理コストの見直しにより計画を上回った。
- ▶ 通販事業は、売上高が増加したことで計画を上回ったが、積極的な広告宣伝費及び販売促進費の投入により、前年同期を下回った。

1 対計画比のセグメント別業績差異要因

【住宅事業セグメント】

- » 売上高は、見込んでいた消費増税が延期となったことや工事の完工・引渡しがずれ込んだことで計画を下回った。
- » 損益面は、売上高が減少したものの、管理コストの見直しにより計画を上回った。

【建築コンサルセグメント】

- » 売上高は、ノウハウ販売・建築部材販売ともに市場悪化の影響が大きく、計画を大幅に下回った。
- » 損益面は、ノウハウ販売と建築部材販売の売上減少に伴い、計画を大幅に下回った。

1 営業利益の増減要因

(単位：百万円)

			前年同期比増加率
2016年3月期上期 営業利益		▲ 1,094	-
①	売上総利益の減少	▲ 476	▲ 3.0 %
② ※	販管費の増減		
	販促費・広告宣伝費	▲ 335	▲ 10.0 %
	人件費	▲ 70	▲ 1.0 %
	支払手数料	▲ 204	▲ 33.6 %
	減価償却費・のれん償却費	+ 104	+ 9.7 %
	地代家賃	0	▲ 0.1 %
	その他販管費	▲ 194	▲ 4.9 %
2017年3月期上期 営業利益		▲ 2,272	-

※ 販管費の増減額について+は損益の増加/▲は損益の減少

① 売上総利益の減少理由

» 住宅事業で売上総利益が大幅減少したことによる。

② 販管費の増減理由

» 販促費・広告宣伝費は、レオハウスとジェイウッド、通販事業で増加したことによる。

» 人件費は、ジェイウッドにおける増員と新たにエコ&エコとケイディアイを連結範囲に加えたことによる。

» 支払手数料は、主にM&A他コンサルティング料が増加したことなどによる。

» 減価償却費は、レオハウスでモデルハウス等の閉鎖に伴い減価償却が減少したことと本庄工場の減価償却が定率法に基づくことによる。

1 2017年3月期 上期：連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2016年9月末	構成比	2016年3月末	構成比	増減額
流動資産	21,273	50.0 %	20,113	48.2%	+ 1,159
有形固定資産	13,937	32.7 %	14,249	34.2%	▲ 312
無形固定資産	3,593	8.4 %	3,700	8.9%	▲ 107
投資その他の資産	3,774	8.9 %	3,630	8.7%	+ 143
固定資産計	21,304	50.0 %	21,580	51.8%	▲ 275
資産合計	42,578	100.0 %	41,694	100.0%	884
流動負債	22,018	51.7 %	17,695	42.4%	+ 4,323
固定負債	6,961	16.4 %	8,167	19.6%	▲ 1,205
負債合計	28,980	68.1 %	25,862	62.0%	+ 3,118
株主資本	14,427	33.9 %	16,661	40.0%	▲ 2,234
その他の包括利益累計額	▲ 829	▲ 1.9 %	▲ 829	▲ 2.0%	0
純資産合計	13,597	31.9 %	15,831	38.0%	▲ 2,234
負債・純資産合計	42,578	100.0%	41,694	100.0%	884

主な増減要因

- 流動資産：現金及び預金 ▲3,019 商品及び製品 +1,606 未成工事支出金 +1,604
 - 固定資産：建物及び構築物 ▲179
 - 流動負債：未成工事受入金 +3,542 短期借入金 +1,350
 - 固定負債：長期借入金 ▲1,150
- 自己資本比率：31.9 %

1 2017年3月期 上期：連結キャッシュフロー

(単位：百万円)

	'17.3月期 上期実績	'16.3月期 上期実績	'16.3月期 通期実績
1.営業活動によるCF	▲ 879	▲ 872	2,653
2.投資活動によるCF	▲ 1,837	▲ 906	▲ 205
3.財務活動によるCF	▲ 302	909	1,424
現金及び現金同等物の増減額	▲ 3,019	▲ 869	3,872
現金及び現金同等物の期首残高	8,346	4,474	4,474
現金及び現金同等物の期末残高	5,326	3,605	8,346
減価償却費	945	1,101	2,131

当期の主な要因

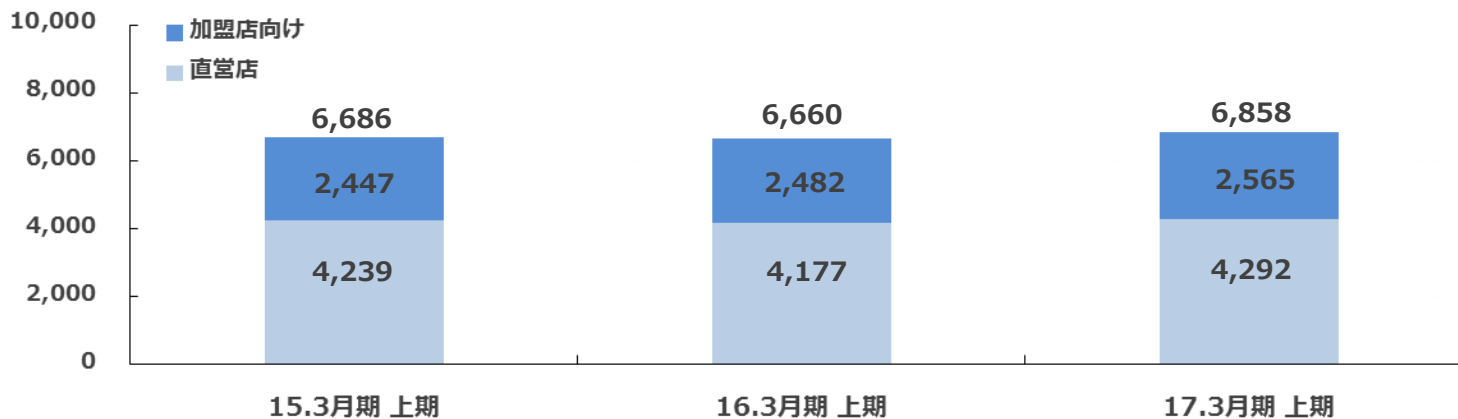
- 営業活動：未成工事受入金の増加3,316百万円、減価償却費945百万円等による資金の増加
 たな卸資産の増加2,257百万円、仕入債務の減少732百万円、四半期純損失2,324百万円等による資金の減少
- 投資活動：有形固定資産の取得667百万円、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得880百万円による資金の減少
- 財務活動：短期借入金の増加1,350百万円、セールスアンドリースバックによる収入134百万円による資金の増加
 長期借入金の返済1,150百万円、配当金の支払い321百万円による資金の減少

2. セグメント別業績

2 セグメント別業績（1）クリックラ事業 ①

売上高

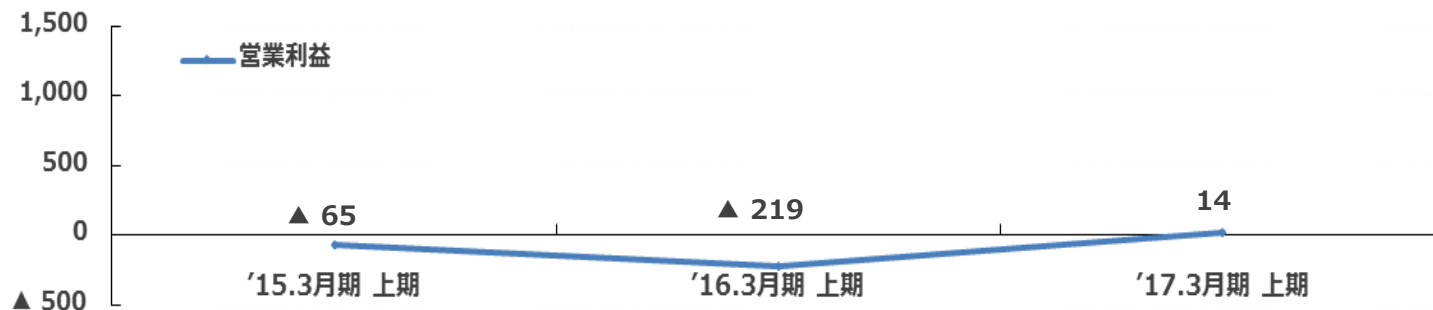
(単位：百万円)



» 直営部門・加盟店部門ともに売上が増加し、前年同期比で増加

営業利益

(単位：百万円)



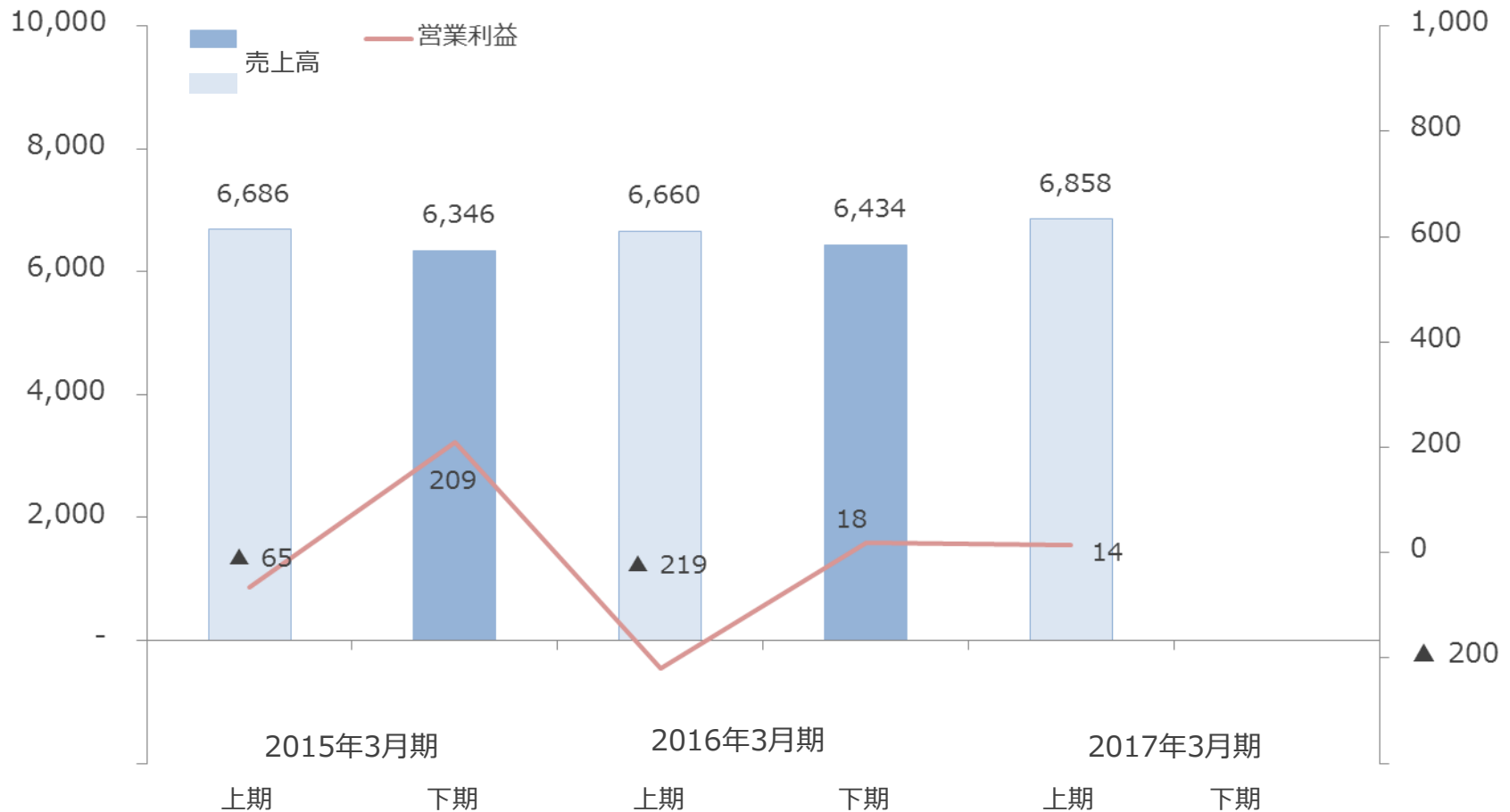
» 損益面では、売上高が増加したことと販売管理費を見直したことにより、前年同期比で増加

2 セグメント別業績（1）クリクラ ②

(単位：百万円)

(単位：百万円)

上期／下期 売上高・営業利益の推移

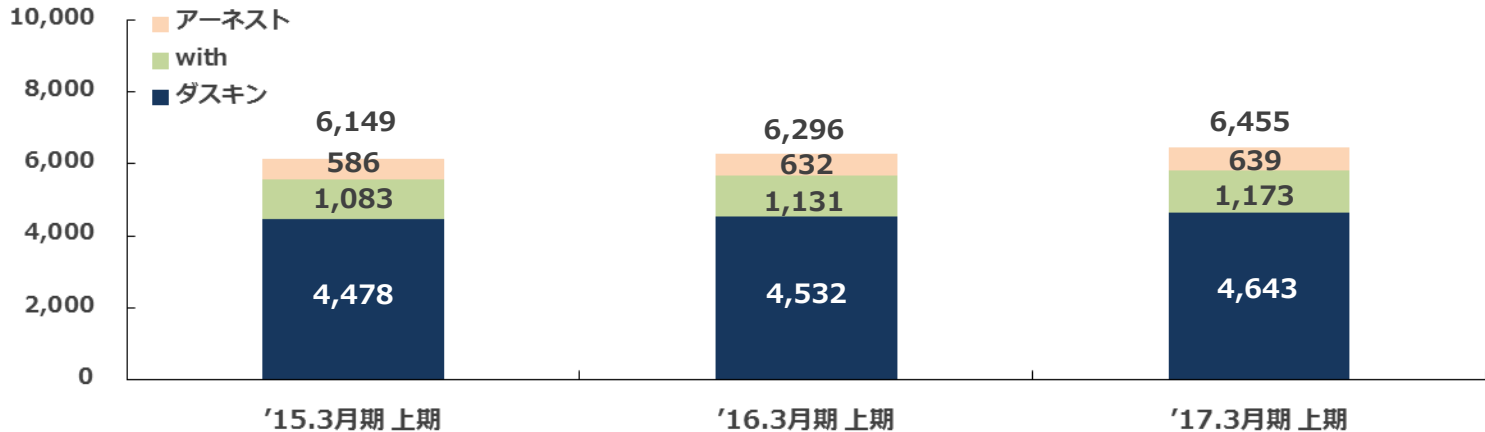


» '17.3月期上期の営業利益は、売上高が増加したことから販売管理費を見直したことにより、前年同期比で増加

2 セグメント別業績（2）レンタル事業 ①

売上高

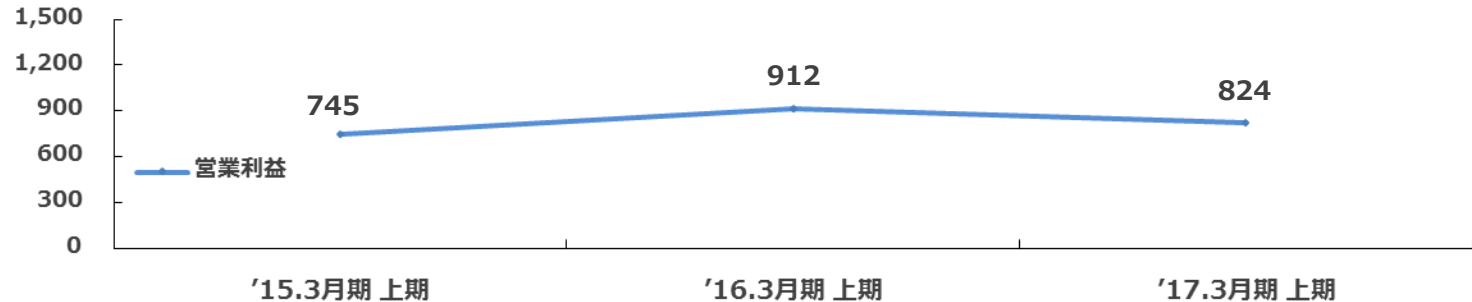
(単位：百万円)



- » ダスキン事業（ダストコントロール商品部門）は、M & A戦略と既存顧客への深耕が奏功したことで顧客数と顧客単価が堅調に推移し、前年同期比で増加
- » with事業（害虫駆除部門）は、直営店において販売促進活動を全国的に展開したことで、前年同期比で増加
- » アーネスト(法人向け定期清掃サービス)はWEB受注の定着に加え、既存顧客からの紹介で新規顧客が増加

営業利益

(単位：百万円)



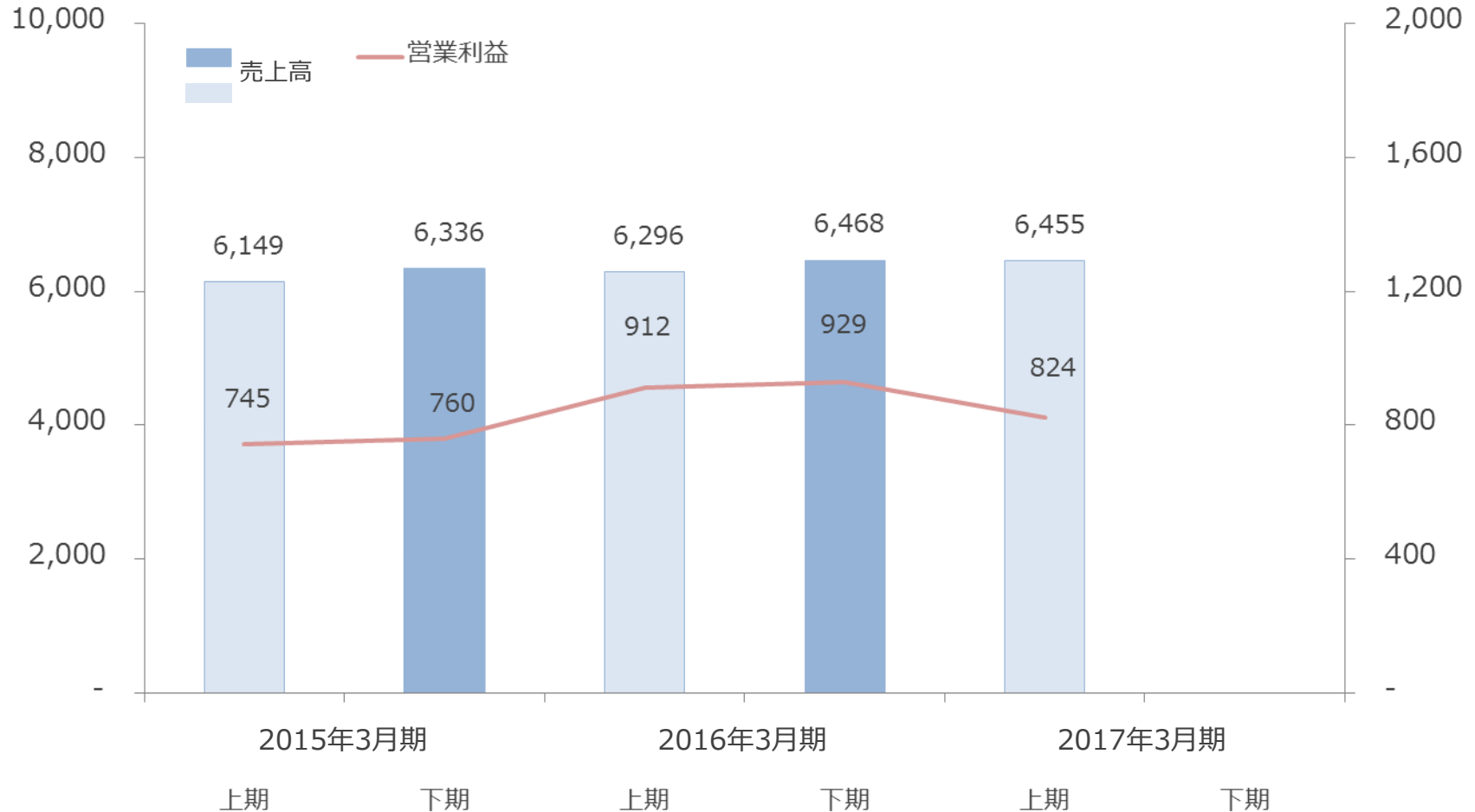
- » 損益面では、人件費とその他販売管理費が増加したことが要因となり営業利益が前年同期比で減少

2 セグメント別業績（2）レンタル ②

(単位：百万円)

(単位：百万円)

上期／下期 売上高・営業利益の推移

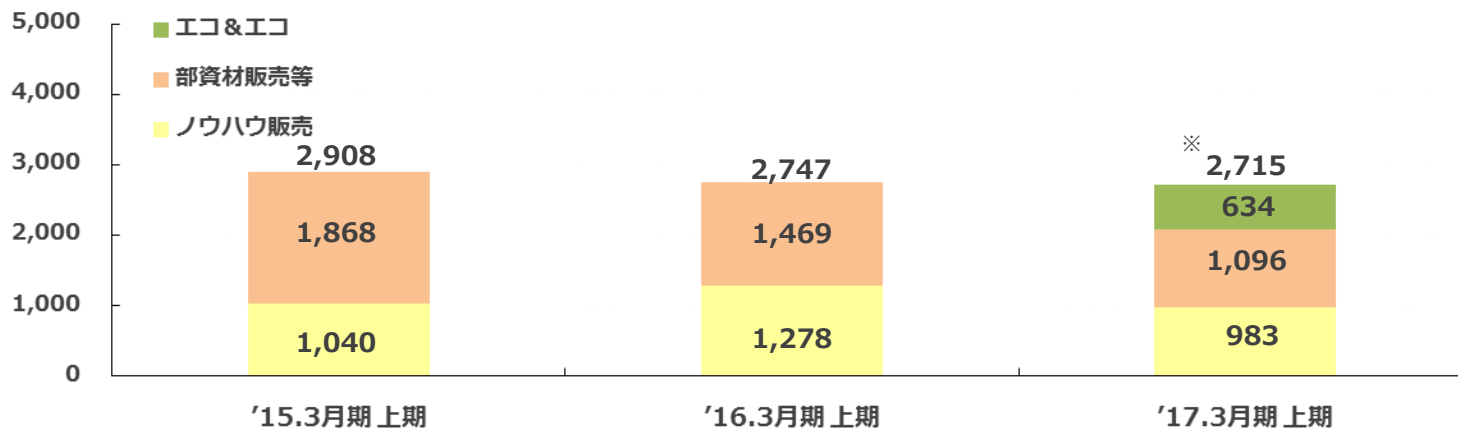


» '17.3月期上期の営業利益は、人件費と販売管理費が増加したことが要因となり前年同期比で減少

2 セグメント別業績（3）建築コンサルティング事業 ①

（単位：百万円） ※ セグメント間売上75百万円を含む。

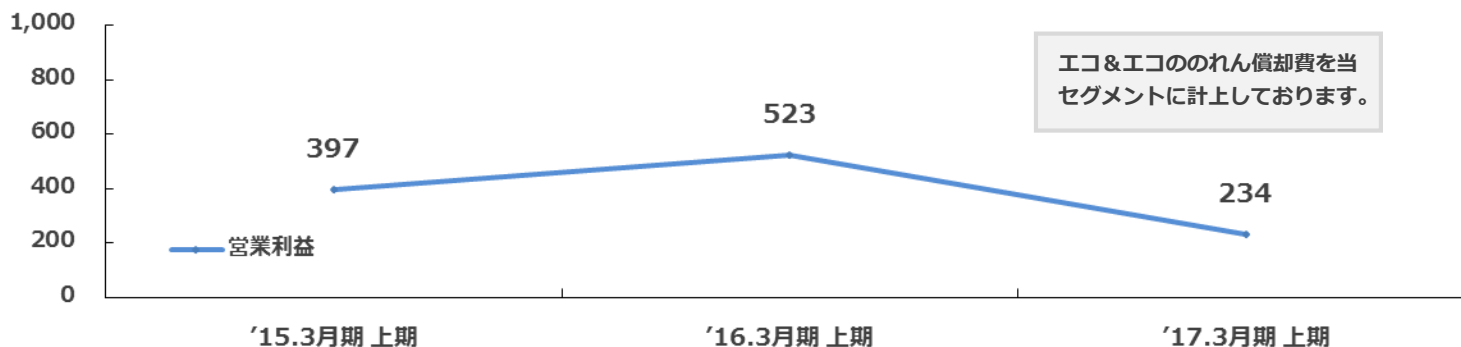
売上高



- ※ ノウハウ販売では、オリジナル新商品の開発や既存商品のバージョンアップなどに積極的に取り組んだものの、売上高は前年同期比で大幅に減少
- ※ 部資材販売では、エコ&エコの施工ネットワークを活かしながら、“ゼロ・エネルギー・ハウス”のパッケージ商材の提案を軸に新築住宅市場への営業に注力したものの、太陽光市場縮小の影響は大きく、売上高は前年同期比で大幅に減少

（単位：百万円）

営業利益

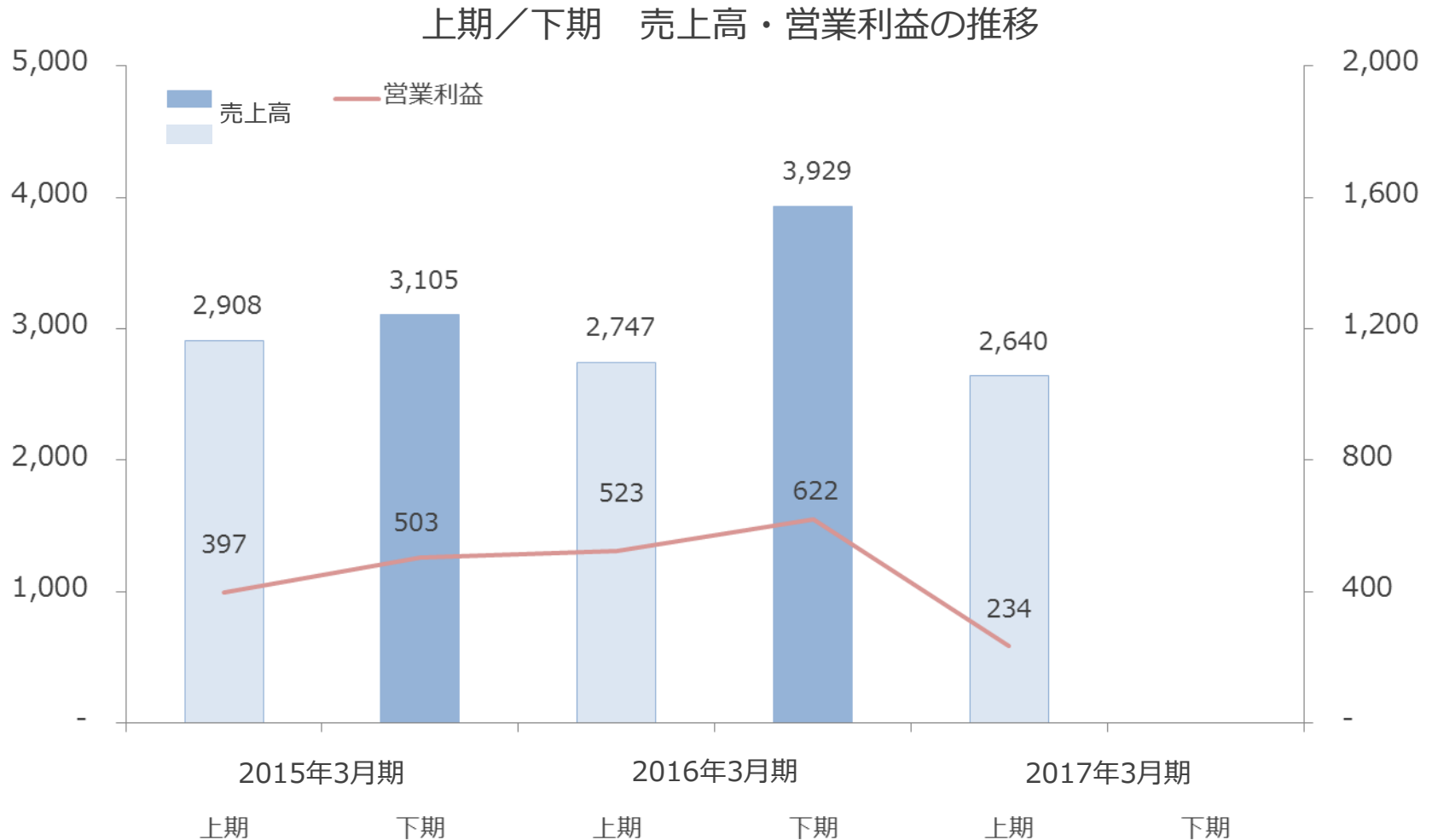


- ※ 損益面では、ノウハウ販売と建築部材販売の売上減少に伴い、営業利益が前年同期比で大幅に減少

2 セグメント別業績（3）建築コンサルティング ②

(単位：百万円)

(単位：百万円)

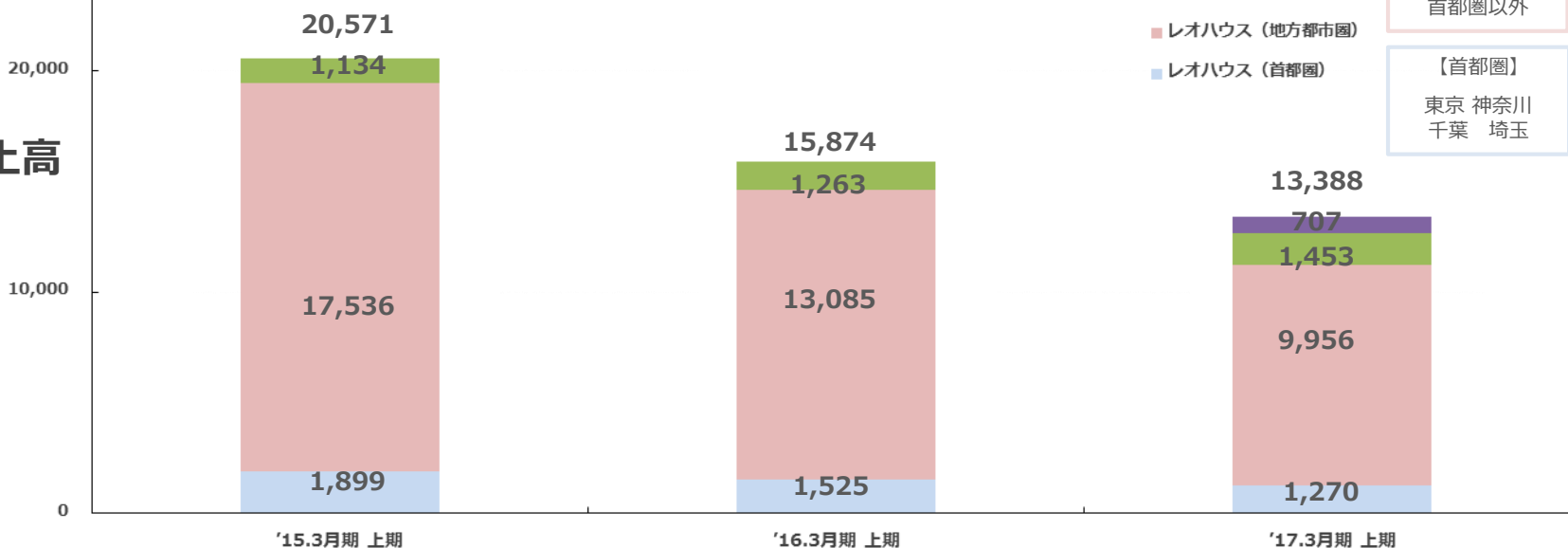


» '17.3月期上期の営業利益は、ノウハウ販売と建築部材販売の売上減少に伴い、前年同期比で大幅に減少

2 セグメント別業績（4）住宅事業 ①

(単位：百万円)

売上高



【地方都市圏】
首都圏以外

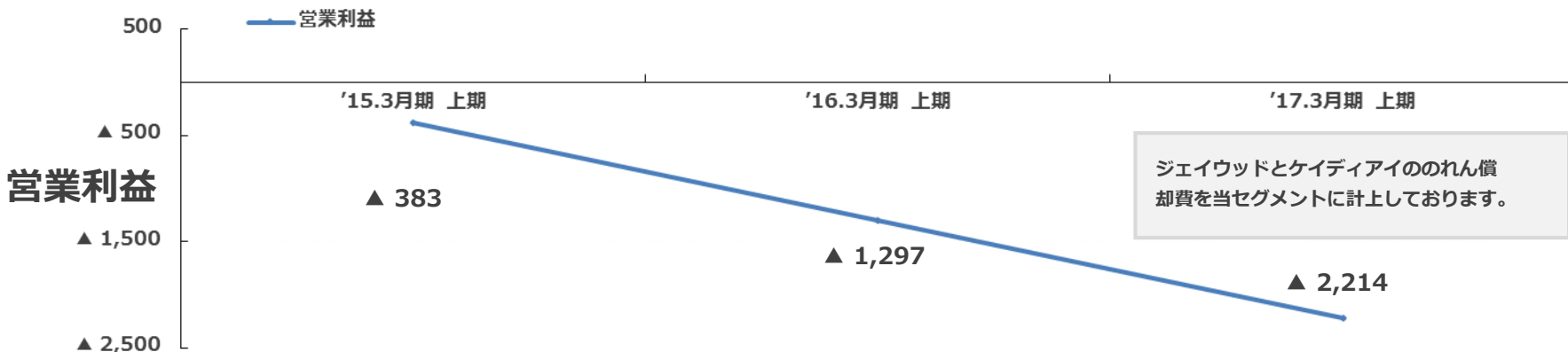
【首都圏】

東京 神奈川
千葉 埼玉

» レオハウスは2016年3月末時点における受注残高の減少と完工・引渡しのずれ込みが影響し、前年同期比で大幅に減少

» ジェイウッドは受注も好調で売上高が前年同期比で増加

(単位：百万円)



ジェイウッドとケイディアイののれん償却費を当セグメントに計上しております。

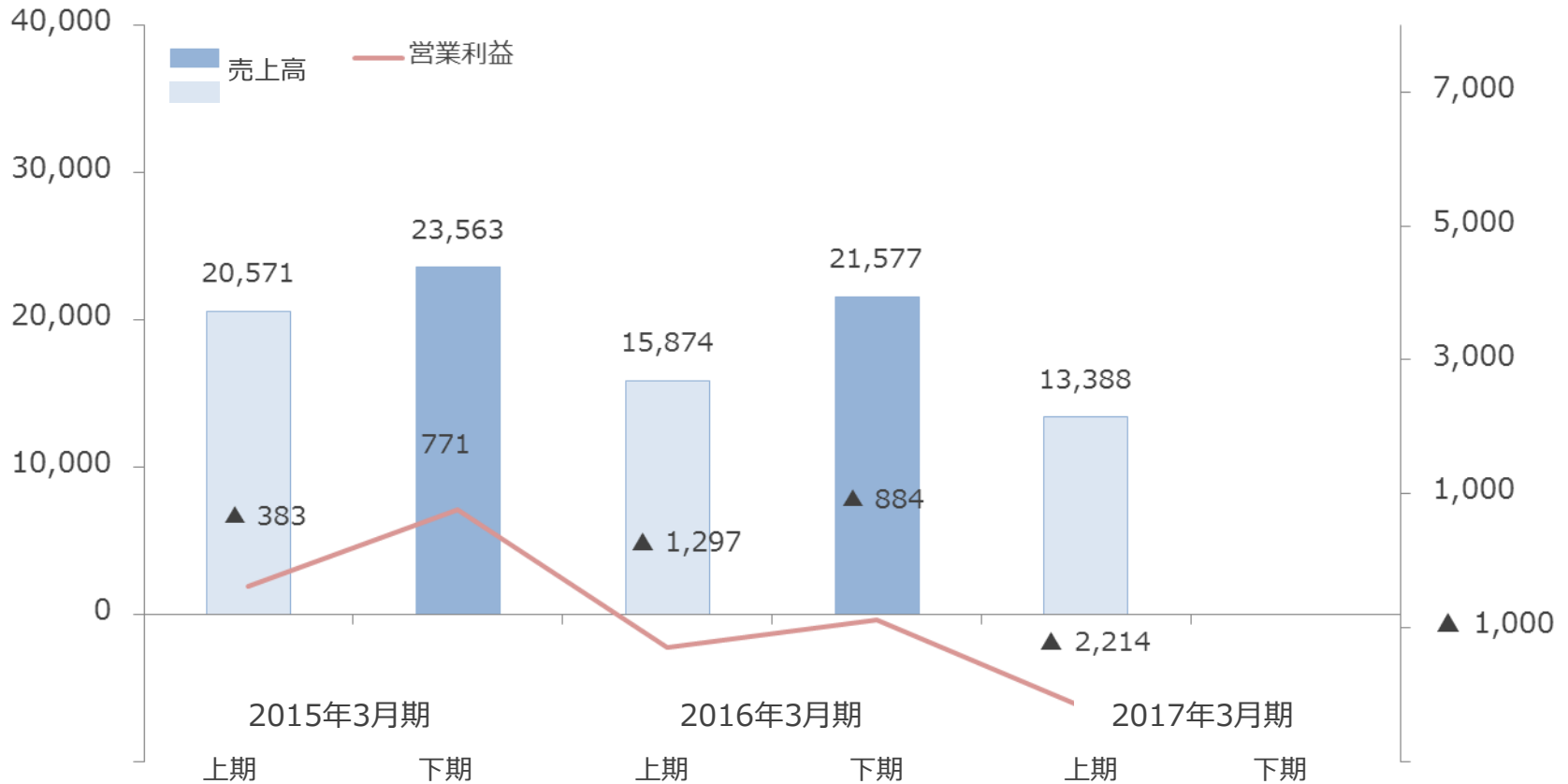
» レオハウスの売上高の減少により、営業利益が前年同期比で減少

2 セグメント別業績（4）住宅事業 ②

(単位：百万円)

(単位：百万円)

上期／下期 売上高・営業利益の推移



- » 住宅の引渡が期末に集中するため、営業利益は下半期に偏る傾向
- ’17.3月期上期の営業利益は、売上高の減少により前年同期比で減少

2 セグメント別業績（4）住宅事業 ④

【レオハウス】四半期ごとの出店数と受注・完工・受注残・販売単価の推移

(単位：棟数/店舗)

	2015年3月期				2016年3月期				2017年3月期			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
受注	530	525	415	435	387	533	406	459	457	677		
完工	468	557	492	654	238	500	347	694	186	390		
受注残	1,267	1,220	1,129	902	1,035	1,057	1,109	861	1,114	1,385		
受注残 増減	+34	▲47	▲91	▲227	+133	+22	+52	▲248	+253	+271		
単価	※1 1,850万円/棟				※1 1,849万円/棟				※1 2,000万円/棟 (計画)			

※1 販売単価は追加・外構工事を除いた金額

出店数	4	3	3	4	7	0	0	0	2	0		
店舗計	※2 97	100	103	107	※3 109	※4 108	108	※5 105	※6 105	105		

※2 支店統廃合により▲2

※3 支店統廃合により▲5

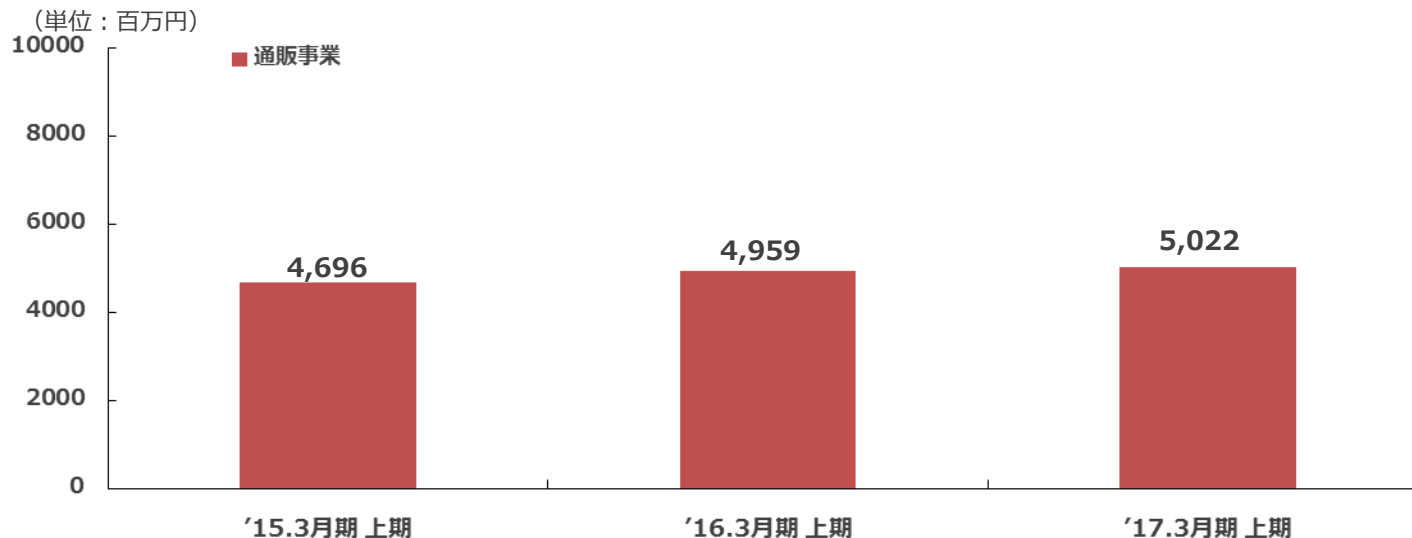
※6 支店統廃合により▲2

※4 支店統廃合により▲1

※5 支店統廃合により▲3

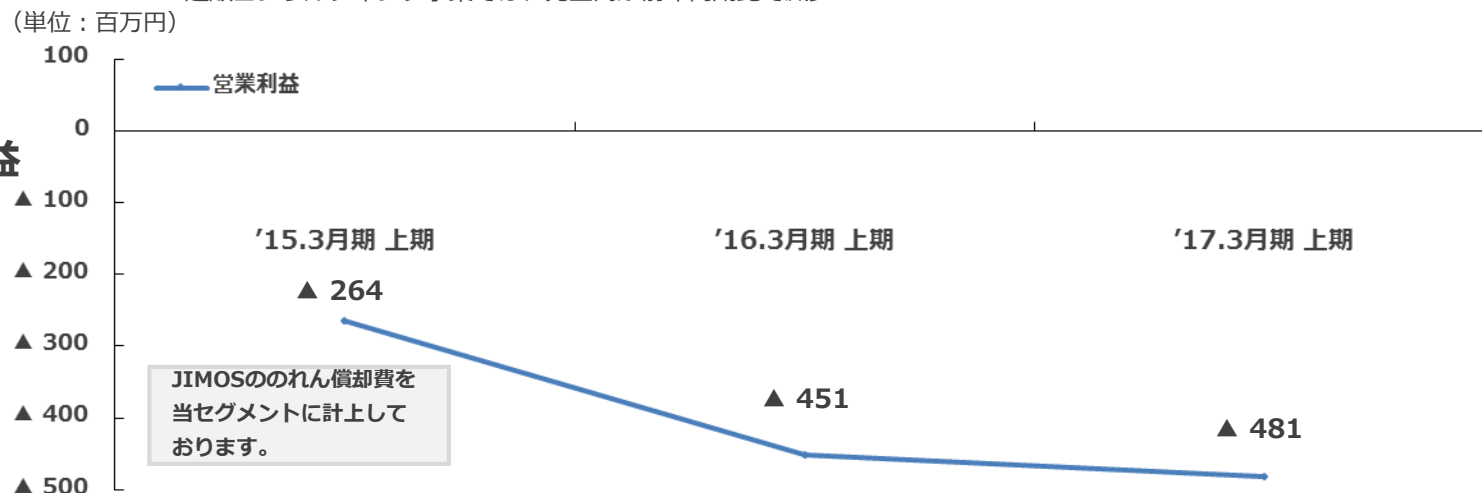
2 セグメント別業績（5）通販事業 ①

売上高



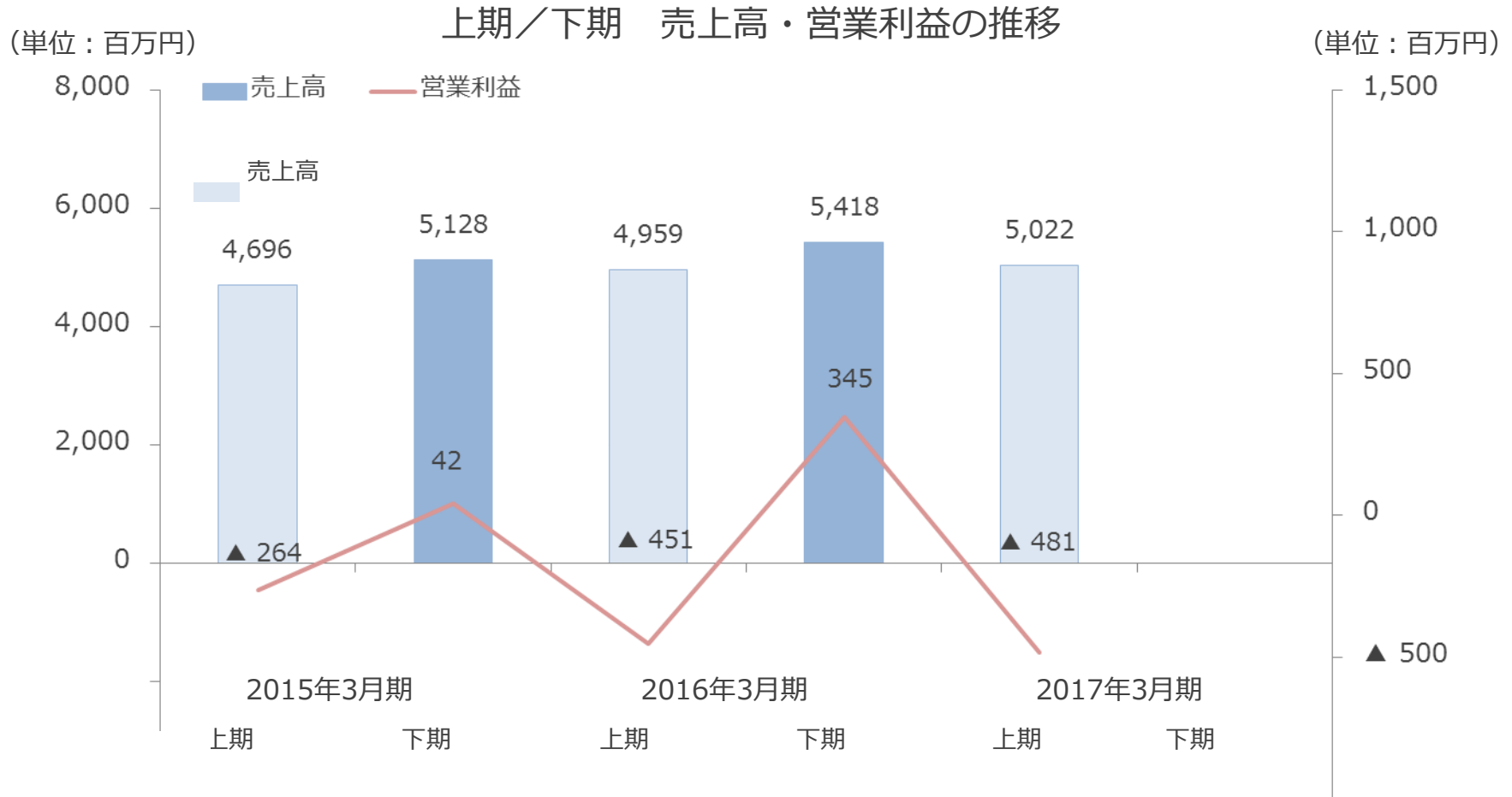
- » 化粧品通信販売では、マキアレイベルの新規顧客数が順調に増加し、売上高が堅調に推移
- » Coyoriについても、新規顧客数が順調に増加し、売上高が前年同期比で増加
- » 通販コンサルティング事業では、売上高が前年同期比で減少

営業利益



- » 損益面では、積極的な広告宣伝費及び販売促進費の投入により、前年同期比で減少

2 セグメント別業績（5）通販事業 ②



» 上期に販促費を増加 下期に売上高・営業利益が高まる傾向

» のれん償却費を当セグメントに計上しており、損益面ではマイナスとなる。

3. 通期業績

(単位：百万円)

	2016年3月期 実績	2017年3月期 公表値	前期比
売上高	80,302	92,000	+ 14.6%
営業利益	701	2,000	+ 185.1%
経常利益	795	2,000	+ 151.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	252	800	+ 216.5%
年間配当	38 円	38 円	-
EPS	14.99 円	47.24 円	+ 32.25 円

3 2017年3月期 セグメント別：売上高 公表値

(単位：百万円)

売上高	2016年3月期 実績	2017年3月期 予想	前期比
クリクラ事業	13,095	13,700	+ 4.6%
レンタル事業	12,765	13,000	+ 1.8%
建築コンサルティング事業	6,676	6,800	+ 1.8%
住宅事業	37,452	47,500	+ 26.8%
通販事業	10,378	11,000	+ 6.0%
消去調整他	▲65	-	-
合計	80,302	92,000	+ 14.6%

□ 住宅事業の建て直しを中心に業績回復を見込む。

カッコ内は営業利益率です。

(単位：百万円)

営 業 利 益	2016年3月期 実績	2017年3月期 予想	増減率
ク リ ク ラ	▲ 201 (▲1.5%)	200 (1.5%)	- (+3.0pt)
レ ン タ ル	1,841 (14.4%)	1,770 (13.6%)	▲ 3.9% (▲ 0.8pt)
建築コンサルティング 事 業	1,146 (17.2%)	1,050 (15.4%)	▲ 8.4% (▲ 1.8pt)
住 宅 事 業	▲ 412 (▲1.1%)	795 (1.7%)	- (+ 2.8pt)
通 販 事 業	▲ 105 (▲1.0%)	▲ 200 (▲ 1.8%)	- (▲ 0.8pt)
新 規 ・ M & A	-	▲ 365	-
全 社 費 用 等	▲ 1,567	▲ 1,250	-
合 計	701 (0.9%)	2,000 (2.2%)	+185.1 % (+ 1.3pt)

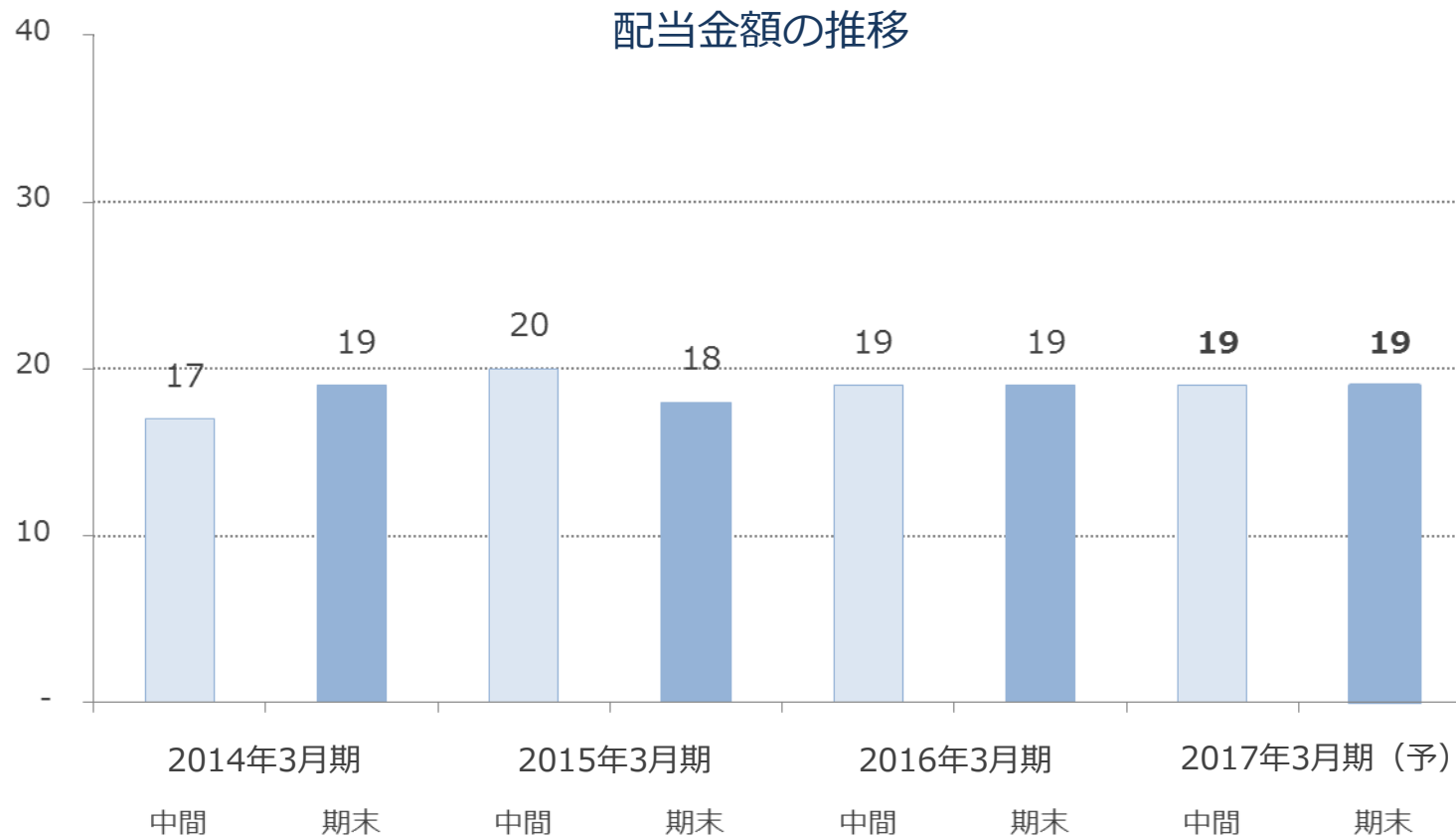
4. 配当計画

4

配当方針：純資産配当率(DOE) 4%

※ 2017年3月期より「配当性向100%以内」の前提条件を付与

(単位：円)



1株あたり
年間配当額

36円

38円

38円

38円

※ 配当方針の「連結純資産配当率4%」を基準に2017年3月期年間配当額は38円の予定です。

5. 補足資料

会社概要と事業紹介

商号	株式会社ナック (Nac Co., Ltd.)
所在地	東京都新宿区西新宿一丁目25番1号 新宿センタービル
設立	昭和46年5月20日
代表者	代表取締役社長 吉村 寛
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ クリクラ事業：宅配水の製造・販売 ■ レンタル事業：ダスキンの清掃用品、害虫駆除器のレンタル、定期清掃業務 ■ 建築コンサルティング事業：建築ノウハウ、太陽光発電システムの販売 ■ 住宅事業：注文住宅の建築請負、それに付随する金融・保険業務 ■ 通販事業：化粧品・健康食品・日用雑貨等の通信販売
連結子会社	<p>株式会社レオハウス (住宅事業) 株式会社アーネスト (ビルメンテナンス事業) 株式会社 JIMOS (通販事業) 株式会社ジェイウッド (住宅事業) 株式会社エコ&エコ (省エネ商材販売・工事) 株式会社ケイディアイ (住宅事業) 株式会社ナックライフパートナーズ (金融・福利厚生)</p>
従業員数 (正社員)	連結2,100名 (パートタイマー、アルバイトは除く)
資本金	40億円
発行済株式数	18,719,250株 (一单元：100株)
株主数	9,536名 (自己名義株式を除く総株主数)

5 主な指標 (連結ベース)

	'15.3月期 実績	'16.3月期 実績	増減
期中平均発行済株式数	16,717,171 株	16,867,190 株	+ 150,019 株
1株当り純資産 (BPS)	961.22 円	934.95 円	▲ 26.27 円
1株当り当期純利益 (EPS)	31.09 円	14.99 円	▲ 16.1 円
自己資本比率	40.5 %	38.0 %	▲ 2.5 pt
自己資本純利益率 (ROE)	3.2 %	1.6 %	▲ 1.6 Pt
1株当り配当金	38 円	38 円	0 円
配当性向	122.2%	253.6 %	+ 131.4 pt
純資産配当率	4.0%	4.0 %	0 pt

5 沿革

1971年 5月	東京都町田市に株式会社ダスキン鶴川設立	
1977年 8月	株式会社ナックに商号変更	
1995年 9月	日本証券業協会（現：JASDAQ）に店頭登録	
1997年 1月	東京証券取引所市場第二部上場	
1999年 9月	東京証券取引所市場第一部指定	
2001年12月	宅配水事業「クリクラ」に進出	
2002年 2月	連結子会社（現・株式会社レオハウス）で住宅事業に進出	
2010年 3月	創業 40周年、売上高 500億円達成	
2012年 3月	株式会社 アーネストを子会社化	
2013年 7月	株式会社 JIMOSを子会社化 株式会社ジェイウッドを子会社化	
2015年 4月	クリクラ本庄工場新設	
2015年 9月	株式会社エコ&エコを子会社化	
2016年 5月	株式会社ケイディアイを子会社化	

5 各事業の市場におけるポジショニング

クリクラ事業

- 宅配水市場売上高シェアNo.1※1（加盟店は全国に約600社）
- 製造本数業界No.1(約1800万本)
- 業界初のHACCP認証、ecoマークを取得
- 業界初の研究開発専門センター設立

※1 2011～2014年度宅配水市場販売金額ベース株式会社矢野経済研究所調べ 2016年2月現在

レンタル事業

- ダスキンフランチャイズディーラー売上No.1（約2,000社中）
- 日本初の厚生労働省承認 飲食店向け害虫駆除器「with」

建築コンサルティング事業

- ナック会員工務店 約6,000社
- 地場工務店向け「受注促進」「原価低減」支援事業
- 太陽光発電システム、スマートハウス商材などの卸販売
- 2015年9月より省エネ商材販売・工事を手がける株式会社エコ&エコを子会社化

住宅事業

- 「レオハウス」ブランドによる注文住宅の建築請負
- レオハウス '11 '12 '13 年度注文住宅 地域ビルダーNo.1
- 2013年7月より自然素材住宅を手がける株式会社ジェイウッドを子会社化
- 2016年オリコン日本顧客満足度調査ハウスメーカー（注文住宅）女性の顧客満足度第1位等、同調査で合計3部門で1位獲得
- 2016年5月より首都圏を中心に分譲・注文住宅を手がける株式会社ケイディアイを子会社化

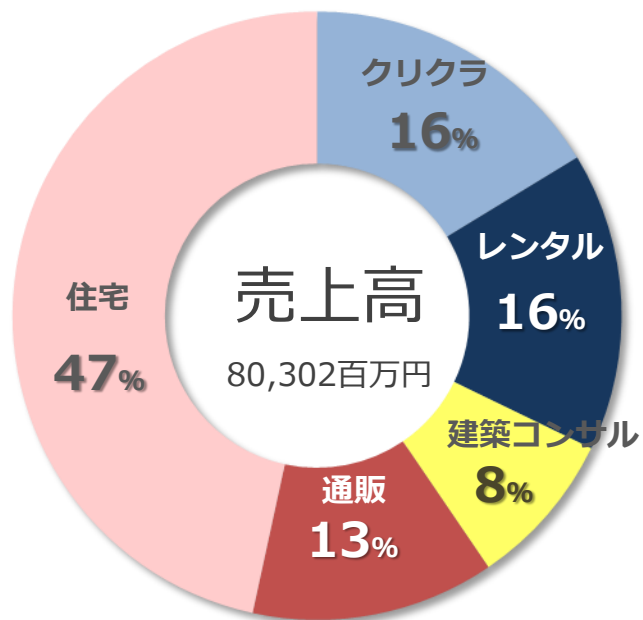
通販事業

- 2013年7月、株式会社 JIMOS の子会社化により通販事業参入
- 40～60代の女性を中心に、基礎化粧品が主力
- 「'14 Yahoo! BEAUTY あなたが選ぶ通販コスメ大賞」のベースメイクアイテム部門でJIMOSの商品が No.1 を獲得

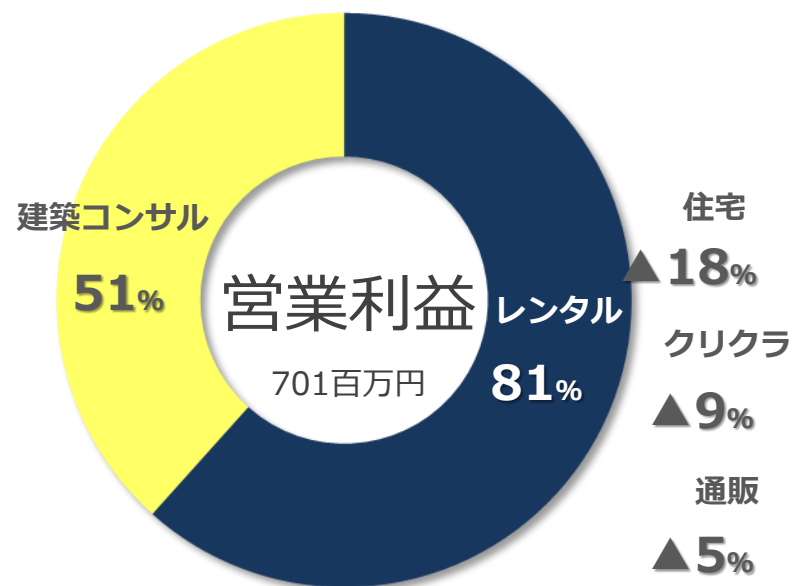
5

売上高・営業利益構成比（16.3期実績）

■ クリクラ ■ レンタル ■ 建築コンサル ■ 通販 ■ 住宅



■ レンタル ■ 建築コンサル



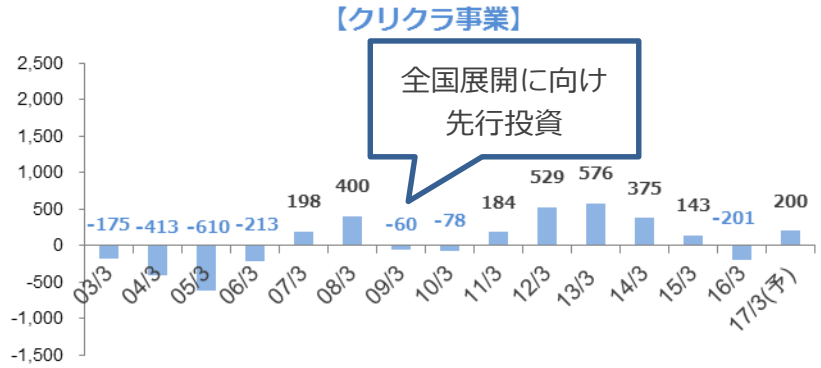
※本社費は除外しています

売上高営業利益率

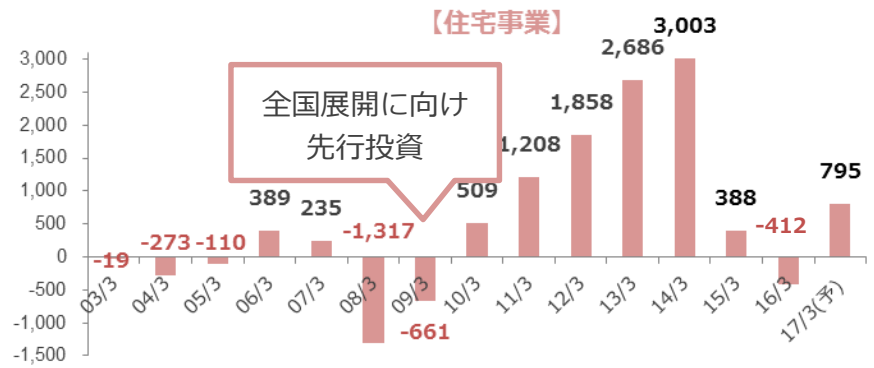
クリクラ	レンタル	建築コンサル	通販	住宅	全社
▲1.5%	14.4%	17.2%	▲1.0%	▲1.1%	0.9%

5 セグメント別営業利益の推移

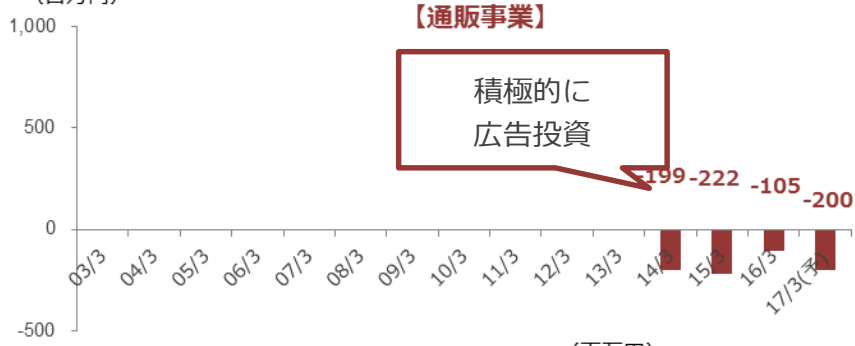
(百万円)



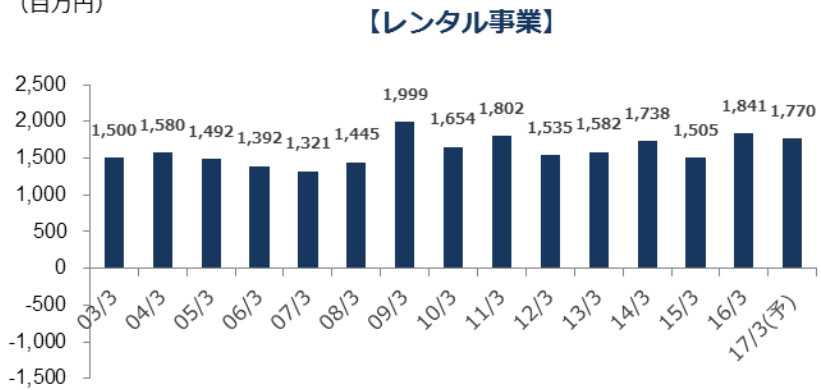
(百万円)



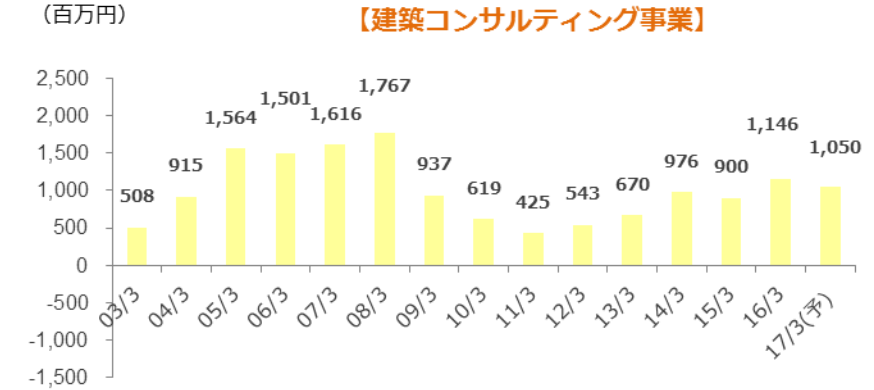
(百万円)



(百万円)



(百万円)



安定したレンタル事業と建築コンサルティング事業を基盤に積極的に投資をして成長を目指します。